



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成26年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ニチレイ

コード番号 2871 URL <http://www.nichirei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大谷 邦夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 安田 一彦

TEL 03-3248-2165

四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日

配当支払開始予定日

平成26年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	269,156	7.6	7,699	16.9	7,619	22.4	4,256	1.9
26年3月期第2四半期	250,241	8.0	6,584	△22.3	6,224	△24.5	4,175	△33.7

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 6,793百万円 (△2.4%) 26年3月期第2四半期 6,963百万円 (51.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	14.89	—
26年3月期第2四半期	14.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	330,700	142,204	41.8	483.31
26年3月期	318,507	136,846	41.9	466.31

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 138,154百万円 26年3月期 133,298百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年3月期	—	5.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	535,700	4.8	16,500	4.5	15,900	10.1	9,500	6.8	33.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	295,851,065 株	26年3月期	295,851,065 株
27年3月期2Q	10,001,066 株	26年3月期	9,991,273 株
27年3月期2Q	285,855,594 株	26年3月期2Q	285,903,117 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提条件その他の関連する事項や注意事項等については、添付資料7ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 注意事項」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	7
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	7
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	7
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	7
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	12
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(セグメント情報等)	14
(重要な後発事象)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

《日本経済の概況》

- ・企業収益や雇用情勢は改善がみられるものの、消費税率引上げや天候不順の影響により個人消費は持ち直しの動きが足踏み状態になるなど、景気の先行きは不透明な状況

《食品・食品物流業界の概況》

- ・食品業界では、円安進行により輸入品の調達コストが上昇し水産品や畜産品も全般的に高値で推移、一方、川下では業態を超えた販売競争が激化
- ・食品物流業界では、燃油価格の高止まりや規制強化に伴うドライバー不足により車両調達コストが上昇するなど厳しい状況が続く

① 業績の概況

《連結経営成績》

(単位：百万円)

	当第2四半期 累計期間	前期比	増減率(%)
売上高	269,156	18,915	7.6
営業利益	7,699	1,115	16.9
経常利益	7,619	1,395	22.4
四半期純利益	4,256	80	1.9

(ポイントは億円単位で単位未満切捨て)

(イ) 連結売上高のポイント

加工食品事業は調理冷凍食品の販売が好調に推移し88億円の増収、低温物流事業は前年度に稼働した物流センターの売上げが寄与したことなどにより56億円の増収となり、グループ全体では189億円の増収

(ロ) 連結営業利益のポイント

輸配送コスト上昇の影響などにより低温物流事業が2億円の減益となったものの、加工食品事業は11億円、畜産事業は3億円の増益となり、グループ全体では11億円の増益

(ハ) 連結純利益のポイント

連結経常利益は13億円の増益、四半期純利益は前期に計上した投資有価証券売却益がなくなり微増にとどまる

② セグメント別の概況

(単位：百万円)

(セグメント)	売上高			営業利益		
	当第2四半期 累計期間	前期比	増減率(%)	当第2四半期 累計期間	前期比	増減率(%)
加工食品	109,333	8,881	8.8	2,152	1,148	114.3
水産	34,682	160	0.5	237	148	167.6
畜産	41,969	4,459	11.9	209	382	-
低温物流	88,971	5,691	6.8	4,125	△297	△6.7
不動産	2,454	19	0.8	1,053	△129	△11.0
その他	1,779	267	17.7	112	53	90.6
調整額	△10,033	△565	-	△193	△190	-
合計	269,156	18,915	7.6	7,699	1,115	16.9

(イ) 加工食品事業

- ・国内では中食需要が堅調に推移するなか、業務用を中心に調理冷凍食品の販売が拡大するとともに、海外子会社の売上げも伸長し増収
- ・円安による原材料・仕入コスト上昇の影響があったものの、増収効果や生産性の改善・前年度の価格改定などのコスト吸収策の継続効果が寄与し増益

(単位：百万円)

	当第2四半期 累計期間	前期比	増減率(%)
売上高 計	109,333	8,881	8.8
家庭用調理品	29,232	1,300	4.7
業務用調理品	48,001	3,918	8.9
農産加工品	10,302	315	3.2
海外	12,461	2,314	22.8
その他	9,335	1,033	12.4
営業利益	2,152	1,148	114.3

家庭用調理冷凍食品

- ・消費税増税の影響を受けたものの、「本格焼おにぎり」・「本格炒め炒飯(塩)」など主力の米飯類や、リニューアルした「ミニハンバーグ」が好調に推移し増収

業務用調理冷凍食品

- ・中食向けを中心にチキン加工品やコロケ、春巻などの取扱いが拡大し大幅な増収

農産加工品

- ・家庭用では枝豆やブロッコリー、業務用では、ほうれん草などの「そのまま使えるシリーズ」の販売が順調に推移し増収

海外 (平成26年1月～平成26年6月)

- ・北米におけるアジアンフーズ(家庭用冷凍食品)の取扱いが伸長したことに加え、タイ子会社のEU向けチキン加工品の販売が好調に推移し大幅な増収

(ロ) 水産事業

- ・水産物の相場が全般的に高水準で推移する状況のもと、中食・外食向けに最適な加工度で商品を提供する取組みが奏功し売上げ・利益とも前期を上回る
- ・供給不足により価格が高値圏にある「えび」の需要が減退したものの、円安を背景にした国内産品の輸出や販売価格が上昇した「たこ」が収益に寄与

(ハ) 畜産事業

- ・豚肉は相場高により消費量が減少するなか輸入品を中心に売上げを確保したことや、代替需要により鶏肉の販売が好調に推移し増収
- ・円安により仕入コストが上昇したものの、販売価格への転嫁が進んだことなどにより増益

(二) 低温物流事業

- ・冷蔵倉庫業界全体の在庫量は横ばいに推移するなか、当社グループは大都市圏を中心に保管需要の取り込みに注力
- ・TC（通過型センター）事業の取扱いが拡大したことや、前年度に稼働した物流センター及び海外事業の貢献により増収となったものの、車両調達コストや電力料金などのコスト上昇が響き減益

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	当第2 四半期 累計期間	前期比	増減率 (%)	当第2 四半期 累計期間	前期比	増減率 (%)
国内小計	73,184	3,310	4.7	3,760	△312	△7.7
物流ネットワーク	46,123	503	1.1	1,382	△444	△24.3
地域保管	27,061	2,806	11.6	2,377	132	5.9
海外	14,954	2,358	18.7	499	△112	△18.3
その他・共通	832	23	2.9	△133	126	-
合計	88,971	5,691	6.8	4,125	△297	△6.7

(注) 地域保管事業に物流ネットワーク事業の業務を一部統合

国内

- ・前年度に稼働した東扇島2期棟・北九州TCや既存顧客の取扱いが拡大したTC事業がけん引するとともに、3PL事業での物流効率化提案による受託も寄与し増収
 - ・車両調達コストの上昇や電力料金が增加するなか、運送効率を高めるなどコスト吸収策を進めたものの減益
- 海外（平成26年1月～平成26年6月）
- ・欧州地域において、運送需要の着実な取り込みやユーロ高の影響で増収となったものの、チキンや輸入果汁など主力商材の在庫減少が響き減益

(2) 財政状態に関する説明

《資産・負債及び純資産の状況》

(単位：百万円)

	前会計年度末	当第2四半期 会計期間末	比較増減
総資産	318,507	330,700	12,193
負債	181,660	188,496	6,835
うち、有利子負債 (リース債務を除く)	106,097 (85,718)	106,928 (88,229)	830 (2,510)
純資産	136,846	142,204	5,357
D/Eレシオ(倍) (リース債務を除く)	0.8 (0.6)	0.8 (0.6)	0.0 (0.0)

(注) D/Eレシオの算出方法：有利子負債÷純資産

(ポイントは億円単位で単位未満切捨て)

- ① 総資産のポイント 3,307億円（121億円の増加）
 - ・売上げの増加や季節的要因により売上債権などが増加し流動資産は56億円増加
 - ・主力事業の収益基盤拡大に向けた設備投資を進めたことなどにより有形固定資産は26億円増加
- ② 負債のポイント 1,884億円（68億円の増加）
 - ・季節的要因により買掛金は23億円増加
- ③ 純資産のポイント 1,422億円（53億円の増加）
 - ・四半期純利益42億円の計上、配当金の支払い14億円などにより利益剰余金は28億円増加、その他の包括利益累計額合計は20億円増加

《キャッシュ・フローの状況》

(単位：百万円)

	前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間	比較増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,205	11,178	9,972
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,764	△10,780	△4,015
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,141	△936	△5,078
フリーキャッシュ・フロー	△5,558	398	5,957

(ポイントは億円単位で単位未満切捨て)

- ① 営業活動によるキャッシュ・フローのポイント
 - ・経常利益は76億円、減価償却費は74億円を計上する一方、法人税等の支払いなどにより、営業活動によるキャッシュ・フローは111億円の収入
- ② 投資活動によるキャッシュ・フローのポイント
 - ・有形固定資産の取得による支出などにより、投資活動によるキャッシュ・フローは107億円の支出
- ③ 財務活動によるキャッシュ・フローのポイント
 - ・配当金の支払いなどにより、財務活動によるキャッシュ・フローは9億円の支出

《設備の状況》

- ① 主要な設備の状況
 - 当第2四半期連結累計期間において、当社グループの主要な設備に重要な異動はありません。
- ② 設備投資等の概要

(単位：百万円)

	前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間	比較増減
資本的支出	12,609 (11,125)	11,419 (10,583)	△1,190 (△542)
設備投資額	12,209 (10,753)	11,231 (10,398)	△977 (△354)
減価償却費	7,036 (5,164)	7,433 (5,574)	397 (410)

(注) () 内はリース資産を除いた数値であります。

当第2四半期連結累計期間に実施した重要な設備投資の内容は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

完了年月	会社名 事業所名	所在地	セグメントの 名称	設備の内容	設備投資 総額	当期計上額 (既計上額)	完成後の 増加能力
平成26年 10月	㈱ニチレイ・ ロジスティクス関西 咲洲物流センター	大阪市 住之江区	低温物流	物流センターの新設	※8,986	4,543 (8,241)	冷蔵 40,100t
平成26年 11月(予定)	㈱ニチレイ・ ロジスティクス北海道 十勝物流センター	北海道 音更町	〃	〃	※1,134	308 (460)	冷蔵 8,140t
平成27年 11月(予定)	㈱ロジスティクス・ ネットワーク 船橋物流センター	千葉県 船橋市	〃	物流センターの建替	※3,835	- (-)	冷蔵 20,264t

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 「設備投資総額」の※は、計画数値であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

① 当社グループ全体の予想

平成26年5月13日付の「平成26年3月期 決算短信」で公表しました平成27年3月期の連結業績予想を下記のとおり修正しております。

(単位：百万円)

		通期			
		予想	対前期比較		前回予想比
			増減額	増減率(%)	
売上高	加工食品	219,400	14,972	7.3	5,400
	水産	68,600	△48	△0.1	-
	畜産	83,000	2,887	3.6	3,000
	低温物流	176,000	7,638	4.5	3,000
	不動産	4,700	△325	△6.5	-
	その他	4,100	395	10.7	-
	調整額	△20,100	△1,009	-	△700
	合計	535,700	24,510	4.8	10,700
	営業利益	加工食品	5,500	2,101	61.9
	水産	500	80	19.3	-
	畜産	500	372	293.1	-
	低温物流	8,200	△736	△8.2	-
	不動産	2,100	△270	△11.4	-
	その他	400	△0	△0.1	-
	調整額	△700	△837	-	-
	合計	16,500	710	4.5	-
	経常利益	15,900	1,456	10.1	-
	当期純利益	9,500	601	6.8	-

年間の為替レートは、1米ドル105円、1ユーロ135円を想定しております。

② セグメント別の予想

(イ) 加工食品事業

- ・円安などによる原材料・仕入コスト上昇の影響を受けるものの、主力商品を中心に調理冷凍食品の販売拡大と利益率改善を図る
- ・海外では、引き続き米国、タイの子会社を中心に販売拡大に注力する

(ロ) 水産・畜産事業

- ・相場が全般的に高止まりにあるなか、引き続き慎重な買付と在庫回転を重視した販売に徹し安定利益を確保する

(ハ) 低温物流事業

- ・国内は前期に稼働した事業所の新設効果などにより増収、営業利益は輸配送コストや電力料金の上昇が響き減益となる見通し
- ・咲洲物流センター稼働（平成26年10月）により、大阪圏で保管能力と輸配送機能の拡充を進める

③ 設備投資に関する予想

(単位：百万円)

	平成27年3月期 (予想)	対前期比	期初予想比
資本的支出	26,171 (23,263)	2,129 (2,054)	△3,477 (△3,010)
設備投資額	24,966 (22,507)	1,619 (1,947)	△3,335 (△2,534)
減価償却費	16,052 (12,245)	1,576 (1,496)	△548 (△424)

(注) ()内はリース資産を除いた数値であります。

注意事項

この第2四半期決算短信に記載されているニチレイの現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」その他これらの類義語を用いたものに限定されるものではありません。これらの情報は、現在において入手可能な情報から得られたニチレイの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。このため、これらの業績見通しのみで全面的に依拠して投資判断されることは、お控えいただきますようお願いいたします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常にニチレイが将来の見通しを見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えることが予想されるリスクや不確実な要素には、以下のよう

1. ニチレイグループの事業活動を取り巻く経済情勢及び業界環境
2. 米ドル・ユーロを中心とした為替レートの変動
3. 商品開発から原料調達、生産、販売まで一貫した品質保証体制確立の実現性
4. 新商品・新サービス開発の実現性
5. 成長戦略とローコスト構造の実現性
6. ニチレイグループと他社とのアライアンス効果の実現性
7. 偶発事象の結果 など

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,928	11,198
受取手形及び売掛金	69,257	75,499
商品及び製品	37,178	36,620
仕掛品	237	369
原材料及び貯蔵品	5,455	5,819
繰延税金資産	1,131	771
その他	6,474	7,079
貸倒引当金	△153	△157
流動資産合計	131,509	137,200
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	67,440	71,829
機械装置及び運搬具(純額)	19,618	21,263
土地	33,750	33,700
リース資産(純額)	18,817	17,271
建設仮勘定	3,283	1,519
その他(純額)	1,660	1,624
有形固定資産合計	144,571	147,208
無形固定資産		
のれん	3,030	2,838
その他	3,814	3,643
無形固定資産合計	6,844	6,482
投資その他の資産		
投資有価証券	26,293	30,246
繰延税金資産	1,052	1,031
その他	8,410	8,709
貸倒引当金	△175	△177
投資その他の資産合計	35,581	39,809
固定資産合計	186,997	193,500
資産合計	318,507	330,700

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	27,309	29,676
短期借入金	15,675	16,756
コマーシャル・ペーパー	8,000	9,000
1年内返済予定の長期借入金	5,934	5,325
リース債務	3,736	3,579
未払費用	21,861	23,204
未払法人税等	2,133	1,983
役員賞与引当金	192	105
その他	10,693	12,410
流動負債合計	95,537	102,041
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	26,108	27,147
リース債務	16,641	15,118
繰延税金負債	3,923	5,125
役員退職慰労引当金	189	159
退職給付に係る負債	1,433	1,457
資産除去債務	3,111	3,104
長期預り保証金	3,266	2,933
その他	1,449	1,406
固定負債合計	86,122	86,454
負債合計	181,660	188,496
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,307	30,307
資本剰余金	18,224	18,224
利益剰余金	81,463	84,290
自己株式	△5,128	△5,133
株主資本合計	124,867	127,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,292	8,208
繰延ヘッジ損益	461	1,361
為替換算調整勘定	1,699	917
退職給付に係る調整累計額	△22	△22
その他の包括利益累計額合計	8,431	10,465
少数株主持分	3,548	4,049
純資産合計	136,846	142,204
負債純資産合計	318,507	330,700

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	250,241	269,156
売上原価	204,580	219,892
売上総利益	45,660	49,264
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	7,520	7,989
販売促進費	11,097	11,797
広告宣伝費	1,686	1,937
販売手数料	1,916	1,910
役員報酬及び従業員給料・賞与・手当	7,085	7,978
退職給付費用	409	419
法定福利及び厚生費	1,594	1,594
旅費交通費及び通信費	1,155	1,137
賃借料	1,002	1,001
業務委託費	1,236	1,260
研究開発費	809	843
その他	3,561	3,692
販売費及び一般管理費合計	39,076	41,564
営業利益	6,584	7,699
営業外収益		
受取利息	41	27
受取配当金	516	352
持分法による投資利益	94	70
その他	379	613
営業外収益合計	1,033	1,064
営業外費用		
支払利息	652	574
その他	740	569
営業外費用合計	1,393	1,144
経常利益	6,224	7,619

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	61	75
投資有価証券売却益	1,425	—
特別利益合計	1,486	75
特別損失		
固定資産売却損	4	15
固定資産除却損	426	606
減損損失	56	14
事業所閉鎖損失	60	—
特別損失合計	547	636
税金等調整前四半期純利益	7,163	7,057
法人税、住民税及び事業税	2,596	2,126
法人税等調整額	△30	43
法人税等合計	2,565	2,169
少数株主損益調整前四半期純利益	4,597	4,887
少数株主利益	421	631
四半期純利益	4,175	4,256

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,597	4,887
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	414	1,914
繰延ヘッジ損益	△166	914
為替換算調整勘定	1,995	△866
持分法適用会社に対する持分相当額	122	△57
その他の包括利益合計	2,366	1,905
四半期包括利益	6,963	6,793
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,237	6,290
少数株主に係る四半期包括利益	726	503

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,163	7,057
減価償却費	7,036	7,433
減損損失	56	14
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△141	12
受取利息及び受取配当金	△558	△380
支払利息	652	574
持分法による投資損益(△は益)	△94	△70
固定資産売却損益(△は益)	△57	△60
固定資産除却損	127	244
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,424	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,040	△6,586
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,861	△62
仕入債務の増減額(△は減少)	2,260	2,250
その他	△2,743	2,906
小計	4,374	13,335
利息及び配当金の受取額	685	453
利息の支払額	△676	△590
法人税等の支払額	△3,178	△2,020
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,205	11,178
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,541	△9,427
有形固定資産の売却による収入	161	281
投資有価証券の取得による支出	△597	△1,049
投資有価証券の売却による収入	2,214	—
その他	△1,000	△584
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,764	△10,780
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△7,324	1,205
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	△5,000	1,000
長期借入れによる収入	10,806	1,200
長期借入金の返済による支出	△968	△754
社債の発行による収入	9,947	—
リース債務の返済による支出	△1,817	△2,154
自己株式の取得による支出	△9	△5
配当金の支払額	△1,426	△1,426
少数株主への配当金の支払額	△234	△1
少数株主からの払込みによる収入	168	—
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,141	△936
現金及び現金同等物に係る換算差額	552	△191
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△864	△729
現金及び現金同等物の期首残高	14,938	11,928
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,073	11,198

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	加工食品	水産	畜産	低温物流	不動産	計				
売上高										
外部顧客への売上高	100,302	34,415	36,670	75,688	1,896	248,974	1,267	250,241	—	250,241
セグメント間の内部 売上高又は振替高	149	105	840	7,591	538	9,224	243	9,467	△9,467	—
計	100,452	34,521	37,510	83,279	2,434	258,198	1,511	259,709	△9,467	250,241
セグメント利益 又は損失(△)	1,004	88	△172	4,423	1,183	6,528	59	6,587	△3	6,584

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バイオサイエンス事業のほか、人事給与関連業務サービス、緑化管理・清掃関連サービスの事業を含んでおります。
 2 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等△1,240百万円及び各報告セグメントに配分していない持株会社(連結財務諸表提出会社)に係る損益1,237百万円であります。
 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	加工食品	水産	畜産	低温物流	不動産	計				
売上高										
外部顧客への売上高	109,130	34,609	40,839	81,325	1,746	267,650	1,505	269,156	—	269,156
セグメント間の内部 売上高又は振替高	203	72	1,130	7,646	708	9,760	273	10,033	△10,033	—
計	109,333	34,682	41,969	88,971	2,454	277,411	1,779	279,190	△10,033	269,156
セグメント利益	2,152	237	209	4,125	1,053	7,780	112	7,893	△193	7,699

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バイオサイエンス事業のほか、人事給与関連業務サービス、緑化管理・清掃関連サービスの事業を含んでおります。
 2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等△1,296百万円及び各報告セグメントに配分していない持株会社(連結財務諸表提出会社)に係る損益1,102百万円であります。
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

社債の発行

当社は、平成26年9月16日開催の取締役会決議に基づき、以下のとおり無担保社債を発行しました。

- | | |
|-----------|------------------------|
| (1) 社債の名称 | 第22回無担保社債(社債間限定同順位特約付) |
| (2) 発行総額 | 10,000百万円 |
| (3) 利率 | 年0.360% |
| (4) 発行価格 | 額面100円につき100円 |
| (5) 払込期日 | 平成26年10月23日 |
| (6) 償還期限 | 平成33年10月22日 |
| (7) 償還方法 | 満期一括償還 |
| (8) 資金の使途 | 借入金返済資金及び設備投資資金 |

以上